

学校だより
高松小学校



たかひば

～ひばりのように高く舞い上がれ～



令和7年10月30日

「イヤ」なとき どうする？

校長 山崎 勝則

10月24日(金)好天の中『校内マラソン大会』を終えることができました。昨年度より学校周辺道路もお借りしての大会で、地域の方々に大変ご迷惑をおかけしたことと思います。ご協力いただき誠にありがとうございます。

当日は保護者の方だけでなく、地域の方々も子ども達の応援をいただきましたが、大会途中地域の方が私に声をかけてくれました。「誰か知らんけど（自分のことは校長だと知らないみたい…）、子どもらががんばっとるのを見るとなんか元気が出てくるわいね（こてこての高松弁）、ありがたいわ」

今月初めの集会で「マラソン大会、嫌な人は？」と聞いたところ、たくさん子ども達が正直に手を挙げていました。練習中もブツブツと「応援されると何かやる気なくなれんてー」とつぶやきながら走ってました。そりゃそうです、『マラソン大会』ってキツイだけでなく、順位までつくんです。足の遅い子にとっては最高に嫌な行事なんです。足の速い子にとっても順位がつくから自分で自分に勝手にプレッシャーをかけてしまうんです。

それでも出場して完走するってすごいですよね、そりゃ地域の方々にもパワーや感動、感謝を与えるはずです。



応援に支えられた『金沢マラソン』



私ごとではございますが、10月26日(日)荒天の中「金沢マラソン」に嫌々ながら出場しました。第1回大会に出場して以来、毎回申し込みをしています。そして走り終わった後は毎回のように「来年はもうやめよう」と思います。そして凝りもせず毎回申し込みます。なぜかわかりませんが申し込まないと自分に負けたような気分になるんです。

今回も30kmを過ぎたあたりから両足がつり出してきて、「なぜ自分は走っているんだろう」と自問自答を繰り返します。そんなとき

「伊之助ー！猪突猛進！」と声援を受け走りだし、また歩きます。

結果はタイム5時間53分27秒、年々タイムは下降していますが声援に支えられて完走できました。

応援への感謝はもちろん、大会にエントリーした自分もほめてあげたいです。

来年の金沢マラソンはエントリーする？しない？

どっちなんだあーい！

やあー…

